

福井市PTA 連合会

架け橋としてのPTA

子どもたちのために 学校・家庭・地域社会 より一層連携するために

子どもたちも 大人たちも

地域の人も

支え合い助け合い

見守り合いながら成長していく

困難なことにぶつかったとしても

協力し助け合いながら乗り越えていこう

大人がそんな背中を魅せたいことも

教育のひとつなんじゃないかな

ほんのちよっぴだけ周りのために力注ぐと

一緒に笑顔になれる

家庭・地域・学校が

人々の気持ちに支えられ

素長く笑顔に包まれる

素敵な輪になりますよう

心から願っています。

二〇二〇年三月五日 橋詰直起



特集 これからの部活動

その他のページ

研究大会 情報交換会 開催

ブロック活動報告

市P連活動報告

福井市
PTA 連合会
とは

福井市の小中学校のPTAが集まってできている組織です
このネットワークを活用し、各校PTAの活動をサポートいたします



2019/9/28

スポーツ交流会

2019/11/10

ハーバリウム作り

特別な時間を過ごしてもらうための企画と、学校間の横のつながりをもつための交流会

ハーバリウムでは、親子にはふれあいの時間、お友達との楽しい時間、普段忙しいお父さんお母さんには日常から離れた時間など、それぞれ特別な時間を過ごして頂きました。スポーツ交流会ではボーリングを通して各校の交流を深めました。

2019/7/21

情報交換会

2019/11/17

親善スポーツ大会

よりよい PTA 活動のための恒例の会と一風変わった NEW スポーツでの交流

PTA 活動の向上を目指し B ブロックでは独自に情報交換会を実施しています。今年も意見交換を行いました。またどこへ飛ぶか分からない不思議なボールを使ったワンバウンドふらばーるバレーボールで面白い体験を共有いたしました。



B
ブロック

C
ブロック



2019/12/8

ふれあいコンサート

ハーモニーホールふくい大ホールの大空間で味わう、各校の演奏の大迫力と感動

各中学校の吹奏楽部が奏でる素晴らしい演奏に、会場からは大きな拍手が湧きおこりました。最後は4校合同 138 名での演奏となり、ステージいっぱいまで奏でる曲は大迫力でした。ラストの曲「パプリカ」では、客席にいた子ども達も一緒に踊り、会場全体が一体となって感動的でした。

2019/9/14

バブルサッカー大会

気兼ねなく当たっていきける爽快さと、ぶつかり合いによって生まれる絆

バルーンに包まれて行うサッカー。この大きな風船を見ただけで興奮止まらず、試合始まる前からぶつかって転がって、大興奮でした。この奇妙なスポーツで気兼ねなくぶつかりあうことで、参加者同士で思ってもみない繋がりを感しました。



D
ブロック

E
ブロック



2019/9/21

講演会、母親懇談会

2019/11/10

ソフトバレーボール大会

吉弘淳一先生による目から鱗の講義、母親同士で語り合う時間と、スポーツでの交流

吉弘淳一先生のご講演は対話式で、参加したすべての人がお話に取り込まれる笑いに包まれた時間でした。幼少期から思春期、様々な時期を迎える子ども達とどう接すると良いかを教わりました。また、母親だけの懇談会では、母親同士だから理解できる話し合いがなされました。

2019 5/18(土) 年次総会

活動方針・予算・新役員等について承認されました。



2020 1/30(木)

市長・教育長と語る会

各校よりあがった市長・教育長への質問・要望について、お考えを伺いました。

- 市長再選による今後の抱負
- 学校規模適性化について
- 部活動の在り方、部の設置について
- 中学校の冬季通学方法
- 自転車での登下校時の安全確保
- 学校プール開放問題



市長・教育長から率直なご意見、今後の方向性をお聞きすることができました。要望を挙げることで何が問題か分かるため、地域を巻き込んで要望を上げていくことが必要性であることがわかりました。時代の変化に親世代が経験していないことが多々あると市長は語られました。子ども達のために、社会全体でコミュニケーションをとって行く必要性を感じました。

1年を通して 各種委嘱委員会への参加

福井市学校規模適性化委員会、青少年育成福井市民会議等、福井市内の委員会等にPTAとして参加し、意見を述べました。

1年を通して 夏休みプール開放対応

福井市との協議 検討委員会設置を要望

夏休みプール開放事業について幾度も福井市スポーツ課へ足を運び、各小学校 PTA からの要望を伝えました。また、PTA だけでなく他団体も含めた協議の場の設置を求めました。

実施・対応内容

- 年次総会での説明を求める
- アンケート実施 8/10 配布、9月結果まとめ
- 福井市役所にアンケート結果提出 10/5
- 令和2年度プール開放検討委員会参加 12/13、1/15

検討委員会が開催されることとなり、子供達のために、良い方向へ向かうことを期待します。

2019 6/8(土) 福井県幼少中PTA活動 地区別研修会

講演 気がかりな子どもが増えている現状について
福井大学医学部附属病院 小児科こどものこころ診療部
小坂 拓也先生

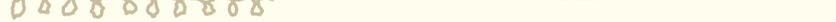
実践 発表 PTA 広報誌制作について 円山小学校 PTA
親と子の絆を深める PTA 活動 森田中学校 PTA

子供の学力・健康・精神面において睡眠・朝食が大事であること、発達障害は個性であり、それを生かす支援の重要性、褒めることの重要性を学びました。実践発表では広報紙コンクール1位の秘訣と、親子の絆を深めるための「マイ弁当デイ」という大変興味深いお話を聞きました。



2019 10/18・19(金・土) 東海北陸ブロック 研究大会三重大会

講演 「ダウン症の子供を育てて学んだこと」
金澤 泰子先生



2020 1/25(土) 福井市 PTA 研究大会

詳細は 4、5 ページをご覧ください。

2020 1/18(土) 福井法人会親子ふれあいステージ 図書回収・ふるさと子供支援

福井法人会共催：ブラビッシモ！

福井法人会共催の「親子ふれあいステージ」サーカスエンターテインメントショー「ブラビッシモ！！」が開催され、市P連では家庭で眠っている図書をご提供いただき、販売いたしました。収益金 59,600 円は、福井市教育振興基金に寄付させていただくこととなり、1/25 の研究大会において、福井市教育委員会教育長へ目録贈呈を行いました。



平成 31 年度 いきいき事業奨励金

PTA 活動の一助につなげて頂くことを目的として、優秀事業に奨励金をお渡ししています

優秀校

- 岡保小学校 PTA 「わらんべ田活動」
- 鷹巣幼小中学校 PTA 「わが町鷹巣 学習発表会」
- 社中学校 PTA 「家庭教育講演会 “ミニコンサート”」
- 森田中学校 PTA 「ARISS スクールコンタクト in 森田」
- 円山小学校 PTA 「円山小学校 キャリア教育」

2019 9/18(水) ホームページ リニューアル

スマートフォンでも見やすいようにしました。

アンケート実施 要望提出

プール開放結果について各校にアンケートを取り、各校の生の声を福井市に届けました。

アンケート結果

- 要望・意見の主な内容
- 開放基準の見直し
- 引率者必須の是非
- 監視員配置の要望
- 開放中止の告知のタイミングの改善、他の告知方法の検討

詳細はこちら



福井市 PTA 連合会

福井市PTA

研究大会

令和2年1月25日(土)

生活学習館にて

未来を担う子ども達が夢や希望をもって
心豊かに逞しく生きていく力を育むために

子ども達のために大人は今何をしたらいいの？他校のPTAさんはどんな活動をしているの？働き方改革で学校はどう変わっていくの？—各校PTAから寄せられたたくさんの「知りたいこと、話したいこと」を5つのテーマにしぼって、今年も研究大会で情報交換を行った。180名の参加者が各会場に分かれて、2時間にわたり熱心に意見や情報を交換し、交流を深めることができた。

1. 教職員と保護者との連携

教職員の働き方改革などによる学校の変化

\\子ども達のより良い環境のための手がかりを見つけたい\\

働き方改革を代表とする時代・環境の変化に対応するため、教職員・保護者が一つのテーブルを囲み、意見交換を行った。

① 教職員と保護者のお互いへの要望など

- 子どもとの緊急時連絡がとれないは困る(保護者) :
- 時間外の対応を、ルールを決める事で解決した。 :
- 下校パトロール、図書ボランティア、駐車場確保の整理など保護者に協力して欲しい。(教職員) :
- 学校行事も削減ではなく、手法を変えるなど努力しているので、そこを理解して欲しい。(教職員) :
- 下校が早くなる事により、家庭教育が大切になってくる。有意義な時間の使い方ができるよう学校と家庭の双方の理解と協力が不可欠。 :

② PTA 事業運営における教職員と保護者との関わり方

- P と T 双方が協力、参加しての PTA 事業であるべきだ。 :
- 地域によっては類似する事業を 1 度にまとめる、隔年にする等、地域も巻き込んで事業を行うようにする。 :
- 保護者のみでできることは、学校を頼らずに行う。(会議も公民館で行う等) :
- 行事削減もしくは、時間の短縮化は検討するべきである。 :
- 教職員と保護者のコミュニケーションの場となる事業は継続して欲しい。 :

まずは保護者が教職員の置かれている状況や、この環境の変化に教職員自身も戸惑いながら工夫を行っている事等について学ぶことから始まり、そして保護者にできることは何か、教職員・保護者が双方協力し合っていく方法は何か、意見を出し合った。お互いの思いを伝えあうことで、それぞれの立場や思いを全てではなくても理解し、子ども達のためという思いは共通であることを確認できた。今はまだまだ変革の途中であり、すぐに結論が出るものでもない。これからも教職員・保護者が連携してこの変化に対応していきたい。

2. PTA 規約

規約の作り方と個人情報の取り扱い

\\スムーズに運用していく為の規約作りのコツは？\\

任意加入である PTA において、これまで同様、当たり前前に全員加入してもらえない時代ではなくなっている中、「規約」と「個人情報の取り扱い」は PTA にとって重要な課題である。これらについて最近取り組んだ福井市内の学校の事例をご紹介・説明を行った後、テーブル毎に分かれて、ファシリテーターを通して、各校の情報交換と、意見交換を行った。

① 規約の作り方

- 現状問題になっていた事項について解決策が見えた。 :
- テーマを決めているものに関して、今回のように資料を用意してもらえた事で非常に助かった。 :
- 他校の例を参考にしながら、自校にあった形にしていけると良い。 :
- 市P連で各校の規約などについてデータベース化してもらえると有難い。 :

② 個人情報取り扱いの運用・体制

- 新聞等での個人情報の取り扱いについての配慮事項についても話し合う事ができ、有意義な機会になった。 :
- 時代に合わせた組織のあり方や、運営方法など高い危機意識を持っている事に感心すると共に、勉強になった。 :
- 他校での個人情報の取り扱いの事例を聞く事ができ、大変参考になった。 :

「規約の作り方」と「個人情報の取り扱い」というなかなか難しいテーマであったが、活発な意見交換となった。ルールを作って終わりではなく、時代の移り変わりの狭間で、どのように運用していったら良いのか、スムーズに運用していく為の規約作りのコツは何か、各校で検討する材料を持ち帰っていただいた。福井市 PTA 連合会としても引き続き情報提供を行っていききたい。

3. 小学校の役員選出

どのような方法で役員になっていただく人を選ぶのか
\\ その方にどのように役員就任を引き受けてもらうのか //

役員選出についてはどこのPTAでも大いに苦労しているところである。近年は児童及びその保護者の数が減ってきており、今までのやり方ではうまくいかない場合も生じている。そこで、選出のやり方や考え方、工夫していること等について情報交換を図り、参考にできるところを学んだ。

1 選出方法

輪番制、くじ引き、投票、町内自治会からの推薦、一本釣り等と様々なやり方があった。(立候補を受け付けていても立候補する人はいないとのこと)。そのような中で、輪番制やくじ引きは決めるときの苦労は少ないが、やらされ感が強いためか活動に参加してくれない人が出やすい傾向がある。“あなた”をお願いをしたいという思いを伝えた場合は、相手のモチベーション向上につながっているとの意見があった。

2 役員構成

業務の継続性・効率を考え前年度の役員のうち半数に残って頂く、前年度副会長の中から会長を選出するというPTAが多数。だが、いったん引き受けると抜けられない、役員の固定化を招く、といったマイナス面も小さくない。かといって、短い任期では事業や役員構成の見直しといった大きな仕事を行うのが難しく、なかなか答えは出ないとのことだった。

3 役員を引き受けてもらうための工夫事例

- 会合を子ども同伴OKにする。
- 会合を休日の午前中に行う。(母親に好評)
- 複数の役員選択肢を示し、どちらかの就任をお願いする。(何もしないというのはナン)
- 子どもが何年生の時にPTAをやりたいかアンケートを取る。
- 周りの多くの人を巻き込みながら、PTA活動はそこまで大変ではないよ〜とアピールする声掛けを日頃から行う。
- 保護者の仕事や家庭の環境、PTA以外の就任している地区の役員等といったことを考慮して、平日夜の仕事が多い役員、休日に仕事が多い役員といった割り振りをする。

4. 中学校の役員選出

小学校とは違った役員選出の難しさ
\\ 楽しく活動できるPTAを作ること //

小学校は6年間あるのに対し、中学校は3年間の中で選出しなければならず、出身小学校の規模の違いもある。小学校でのPTA経験を持っていても、役に立つとは限らない。今般の少子化の影響も少なからずある中、役員や各委員の選出には大変苦労している。普段の悩みや不安なことなど、他の地域保護者の方々から様々な意見をいただき、今後の役員選出方法に活用していけるよう活発な意見交換の場とした。

1 役員及び委員会選出について

役員経験者への声掛け、くじ引きなど、小学校PTA役員選出同様、様々なやり方があるが、中学校では更に出身小学校による輪番制が加わる場合もある。これが一番最適であるという方法を見出すことができないが、その地域特性に合った選出方法がそれぞれあり、また、委員会でのどのような活動をしているかも話し合われ、情報共有ができた。

2 役員や委員会選出の保護者への声掛け

「やってみると実は楽しい、先生と保護者との懸け橋になって学校での生徒の様子を共有できる」といった、役員になるメリットや楽しさを多くの保護者方に知ってもらう事、そのためには役員同士が楽しく活動できる場をつくることも大事だという事が話し合われた。

5. 見守り隊・地域連携

見守り隊の現状と今後について
\\ 学校・PTA・地域それぞれの連携について //

見守り隊について対象は児童であるにも関わらず学校主導の面が強く、PTAとの関係性が弱い。その中でボランティアとしてご協力いただいている見守り隊の現状と今後についてや、学校・PTA・地域それぞれの連携について情報交換を行った。PTAの立ち位置や各団体との付き合い方をどのようにしているかなど具体的に話し合いを行った。

1 見守り隊

- ボランティアであり後継者がいない。募集の案内を出すのがなかなか集まらない。
- 朝の旗持ち当番は保護者で対応、下校時は当番表があっても仕事のため保護者の対応が難しく実質地域のボランティアをお願いしている。
- 見守り隊が少なくなっているため、PTA予算で防犯カメラを設置している。
- 小学校で感謝の会を春と秋に開催している。
- 地域によっては児童クラブ、市民会議の協力がある。

2 地域連携

- 公民館祭りやその他公民館事業にPTAが積極的に参加。
- 公民館や地域の団体も含めて毎月定例会議がある。
- PTAを含めて各団体との連携はできているが、派閥ができているような面がある。
- 校区内で児童がいない地区があるため関係性が希薄になりつつある。
- 以前はうまく連携がとれなかった団体もあったが、人も入れ替わり仲良くできている。やはり個人の付き合いの影響が出てくる。
- 中学校と小学校との連携が重要になってくる。
- 中心的な団体があればサポートしてくれるがPTAが主体になっての活動は弱い面がある。

共働き率 No.1 の福井では保護者が子ども達の登下校に付き添うことは困難であり、見守り隊に頼っているところが大きい。地域によっては高波・熊・猿などの自然に対策も必要であり、大変重要な課題である。少しでも今後に向けた手助けとなるよう、ここで得た情報を持ち帰っていただいた。

特集

これからの部活動

少子化と働き方改革で変わりゆく中で、精一杯頑張っている子供達のために

平成30年、「部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」がスポーツ庁および文化庁から出された。少子化や働き方改革によって部活動のあり方に変化が求められている。部活動の種類の変化、活動時間の変化と、部活動のあり方に悩んでいる中、部活が2種類のみであっても、子供達自身で工夫し、輝いた取り組みを行っている**棗中学校**にお話を聞いた。そして部活動の種類が限られている中で子供達はどのように部活を選ぶのか、**足羽第一中学校**の部活動体験会を見学させていただいた。

ソフトテニス部

保護者もやっていたという子も多く、伝統的に強い部である。**部の自慢は強い仲間とチームの絆**。入部前から経験のある強い仲間が、チームメイトに教えているという。練習内容も自分たちで考え、**皆で成長**しているとのこと。試合になると親たちも応援に来て声援を送ってくれ、最も楽しいのは試合の時だと語った。



部活動間の交流

ソフトテニスの県大会に向けて部員の活躍を祈願し、心を込めて**文化部からソフトテニス部へお守りマスコットをプレゼント**。この企画は**ソフトテニス部と文化部の部員同士で一緒に考えた**とのこと。ソフトテニス部の皆がどんなに嬉しかったか、この笑顔からうかがえる。そして結果、北信越大会、**そして全国大会出場という大変すばらしい成績を収めた**。この二つの部には、部の枠を超えた絆を感じる。そして、この部を超えたつながりに、取材をして感動を覚えた。

文化部



は多岐に渡る。**部の魅力はと尋ねると「何でもできること」**。文化部に入りたくて入部する子だけでなく、運動が苦手、他のスポーツをやりたいなど理由はそれぞれ。**入部理由が何であれ、入って良かったと思えるようにしたい**。いろんなことに挑戦し、**皆で成長**したい、そしていろんな人たちと**絆を深める活動をしていきたい**と生徒たちは語った。

文化部の**活動内容は自由**とのこと。どんな活動をするか生徒同士で提案、話し合っ**て実施している**という。カレーを作るために野菜から育ててみたり、書道に挑戦したりと、内容は多岐に渡る。**部の魅力はと尋ねると「何でもできること」**。文化部に入りたくて入部する子だけでなく、運動が苦手、他のスポーツをやりたいなど理由はそれぞれ。**入部理由が何であれ、入って良かったと思えるようにしたい**。いろんなことに挑戦し、**皆で成長**したい、そしていろんな人たちと**絆を深める活動をしていきたい**と生徒たちは語った。

少子化や働き方改革からやむを得ず部を減らさざるを得ない中、棗中学校では二つのみの部の中で、生徒たち自身で考えた活動を行い、部活の間にはその枠を超えたつながりがある

ソフトテニス部(男子・女子)と文化部

棗中学校(棗小中学校)

絆で結ばれた

二つの部



今回ご紹介したマスコットのプレゼントに代表されるように、棗中学校では、生徒たち自身で考え工夫し、部の枠にとらわれない活動を行っている。そしてそれを受け入れ応援する教師と生徒たちの間にも絆を感じる。部の選択肢は少なくとも、そこから学べる事、成長できることもあることはとても多いことがよく分かった。そして生徒たちが語るこの二つの部活の共通項は**絆と皆の成長**。部内の絆、部間の絆、つながりを大事にし、自分たちで成長していこうとする棗中学校の部活動が大変素晴らしく、これからも期待する。

部を選ぶ理由

足羽第一中学校 剣道部

小学生部活動体験会

学校によって部活の種類は限られている中、子供達はどのように部活を選んでいくのか。10月27日に足羽第一中学校で小学6年生を対象に行われた体験会を見学した。見学した保護者にもお話を聞いた。

体験会内容

女の子2名が参加。内容は来年先輩になる**1年生を中心に考案**。挨拶⇒自己紹介⇒お手本⇒竹刀を使って練習⇒挨拶⇒終了。**剣道部の楽しさを知ってもらえるよう工夫**しているとのこと。**保護者も見学可能**。



児童の気持ちの変化

運動が苦手だけど剣道ならできるかも？
サッカー大好きだけどサッカー部に女子1人で入るのは…。他の部はどうだろう？



先輩が優しく教えてくれて、竹刀で初めて面を打った時は**最高だった！！楽しい！**
剣道部もいいかも！



保護者の気持ちの変化

運動部はキツそうで、**うちの子には無理では**。吹奏楽に体験に行くと思った。
サッカー大好きで、入部OKと聞いたので入っても良いのだけど、**悩んでいるのかな？**



部の雰囲気がいい。礼儀作法を学べてよい部活だと思う。顧問の先生と話せて安心できた。
何より、子供が楽しそうで、剣道部いいかもしれない。



先輩たちの気持ち 体験で楽しさや先輩たちのやさしさに触れ、入部を決めた初心者から始めて段を取り、大会で1本とったときは最高。**自分たちが先輩たちにももらったこと、部の楽しさを伝えたかった。**

部活動体験を通して最終的に子供が自分で入部を決める。入りたい部の有無に関わらず、**体験会で気持ちが変化することも多く、意外な部活に出会う可能性もある**。どんな理由でどの部活を選ぶと大人たちは精一杯子供達を応援したい。保護者にも部活動に対する思いがある。気になる場合は見学させてもらい、顧問の先生と話すことをすすめる。



福井市の部の方針

国の方針に従い、福井市でも「福井市中学校における部活動の方針」が平成31年3月に出された。内容は決してネガティブなものではなく、生徒にとって一層有意義な活動とするために、部活動の意義、目的や休養日、活動時間等を規定したものである。

子供達にとっての部活動

入りたい部活がある子もいれば、ない子もいる。学校規模により大なり小なりはあるが、限られた選択肢の中から部を決める。部活を選ぶ理由が何であろうと、子供達自身の手で自分たちの部の部活を作り上げていく。生徒たちにとって意味のあるかけがえのない学校での経験・思い出となるよう、親・教師ともに考えていきたい。

これからの部活動

この変化の時期、子供達のためにもっと良いものにもっと面白いものになるよう、期待したい。

取材させて頂いた粟小中学校、足羽第一中学校の皆様
に深く感謝申し上げます。



福井市 PTA 連合会

小中学生総合保障制度のご案内

保護者の皆様へ

福井市 PTA 連合会 会長 橋詰 直起

皆様には日頃より PTA 活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、福井市 PTA 連合会では、お子様の健やかなる成長を願い、日頃より「安全の確保」を第一に活動しておりますが、日常の暮らしの中で起きる思わぬケガや事故は、避けて通れないものであると考えます。

平成6年度より相互扶助を目的として、団体契約による割安な掛金でお子様が直面する様々な危険に対応できる「小中学生総合保障制度」を発足しております。

本保障制度はお子様のケガに対する補償だけではなく、病気や第三者に対する賠償事故についても24時間総合的に補償する制度で、お陰様で多くの方にご加入いただいております。

保護者の皆様におかれましては、別途4月にお届けします冊子をご覧ください、当保障制度にご加入下さいますようご案内申し上げます。



申込締切日	保険期間
4月30日(木)	2020年5月1日午後4時から 2021年5月1日午後4時まで

これからも「架け橋」となるように

1年間 皆様のご協力ご支援、ありがとうございました 役員一同

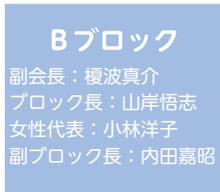


Aブロック

副会長：武内宏嘉
ブロック長：竹内陽美
女性代表：河崎美由紀
副ブロック長：今村善信

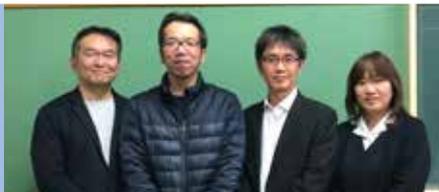


会長
橋詰直起



Bブロック

副会長：榎波真介
ブロック長：山岸悟志
女性代表：小林洋子
副ブロック長：内田嘉昭



〒910-0003
福井市松本4丁目8-4
福井市PTA連合会
【Tel】0776-26-4058 【Fax】0776-26-4358
E-mail : fcppta@mx4.fctv.ne.jp
URL <http://www.fukucity-pta.com/>

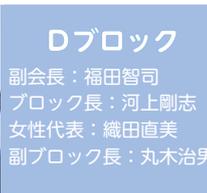
ホームページはこちら

福井市 PTA 連合会



Cブロック

副会長：室田佳子
ブロック長：木村聡一
女性代表：重僧由香里
副ブロック長：宮下尚邦



Dブロック

副会長：福田智司
ブロック長：河上剛志
女性代表：織田直美
副ブロック長：丸木治男

総務委員会

委員長：後藤正邦
副委員長：矢谷智
参与：堀内康弘
山本美樹



Eブロック

副会長：西出雅博
ブロック長：小林由合
女性代表：奥田有果理
副ブロック長：西田元樹



特別委員会

副会長：宮下泰浩
委員長：漆崎直光
副委員長：錦織勝一
参与：笈達雄
高木幸一



広報委員会

委員長：山本益美
副委員長：村上佳代
参与：宮郷美千代
藤田茜



事務局

刀根朋子
黒川啓子
生涯学習課
三原嘉允

県P連

顧問：宇佐美嘉一
参与：田島明子
佐野弘